# 議案補足説明資料

《報告事項》	
(1) 令和5年度 診療状況について	【資料1】
<u>(2) 令和5年度 決算見込等について</u>	
① 令和5年度 決算見込について	【資料2】
② 類似病院との比較	【資料3】
<u>(3) その他報告事項について</u>	
① 南奈良看護専門学校の特待生制度の創設及び指定校推薦の入学	【資料4】
試験の導入について	
② へき地診療所におけるオンライン診療【実証実験の実施】について	【資料5】
③ 南和モデルの推進【へき地支援ナース・医療専門職の派遣】について	【資料6】
④ 訪問看護体制の強化について(サテライト型訪問看護STの設置)	【資料7】
⑤ 令和6年 能登半島地震被災地への医療支援について	【資料8】

### 令和5年度(4~12月) 診療状況について(入院)

#### 南奈良総合医療センター・吉野病院・五條病院

- ○南奈良GMCの入院患者数は、前年度を上回っているが、コロナ 前の水準には戻りきっていない
- ○南奈良GMCでは、コロナ患者の特例加算の廃止により診療単価が下がっている

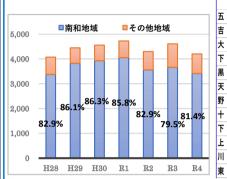
#### 入院患者数 診療単価 300.0 250.0 200.0 55,145 50,982 50,615 150.0 2020 100.0 **--** 2022 **2023** 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 1月 2月 3月 2019 2020 2021 2022 2023

# 地域別患者数の状況

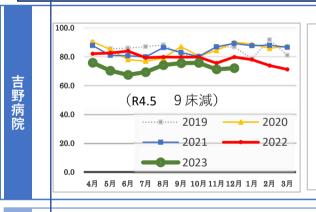
● 患者のうち84~95<sup>%</sup>は 南和地域の住民

#### 南和地域市町村別患者数

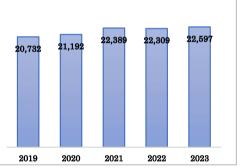
- 南奈良GMCでは、約84<sup>%</sup> (7年平均)
- 吉野病院では、約95<sup>%</sup>(同上)
- 五條病院では、約92<sup>%</sup> (6年平均) ※ 実患者数

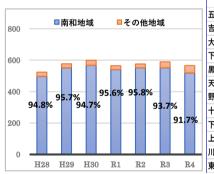


	(入院)		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	$H28 \rightarrow R4$
五	條	市	1,476	1,640	1,675	1,712	1,536	1598	1538	1-1
吉	野	町	380	458	465	477	423	386	400	1
大	淀	町	839	949	947	999	889	941	830	1
下	市	町	339	319	352	360	312	329	259	my.
黒	滝	村	46	56	45	50	40	35	36	1
天	Ш	村	61	85	93	82	72	80	81	m
野	迫川	村	7	24	20	29	15	26	18	1
+	津川	村	106	140	144	163	135	135	125	man.
下	北 山	村	10	15	30	35	26	24	26	1
Ł	北 山	村	21	24	36	34	30	30	18	1
Ш	上	村	79	98	96	91	68	63	68	~
東	吉 野	村	15	23	31	22	19	23	20	1



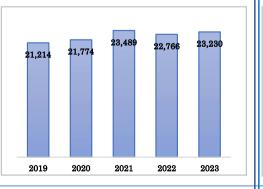
南奈良総合医療センタ

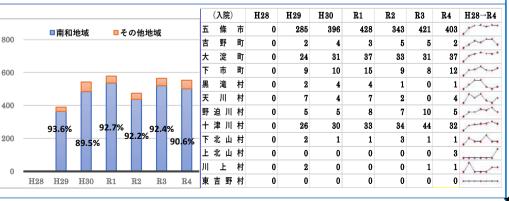




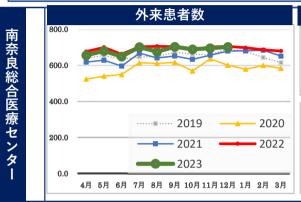
	(入院)		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28→R4
Ŧ	條	市	90	42	17	19	30	35	30	1
吉	野	町	194	249	247	212	215	193	194	1
t	淀	町	101	132	132	157	155	173	170	· Maria
下	市	町	49	59	84	74	77	70	45	1
Ħ,	滝	村	4	3	2	7	7	12	11	
Ŧ	Ш	村	8	12	16	13	18	17	15	~~
野	迫川	村	2	0	1	0	0	1	0	1
+	津川	村	7	8	1	3	9	3	4	71
下	北山	村	2	2	4	5	4	4	4	-
Ŀ	北 山	村	6	8	9	11	5	6	6	1
Ш	上	村	27	31	47	34	28	32	36	1
東	吉 野	村	7	6	8	5	4	6	4	~~

	60.0	
五條症	40.0	(R4.5 7床増)
病院	20.0	2019 2022
	0.0	2023





- ○南奈良GMCの外来患者数は、コロナ発熱外来患者が減ったが 総数では概ね前年度と同数で推移している
- ○南奈良GMCの診療単価は、高額医薬品(化学療法、難病)の 増により単価が上昇している





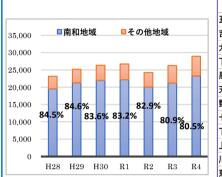


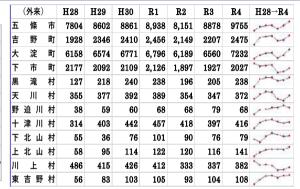
#### 地域別患者数の状況

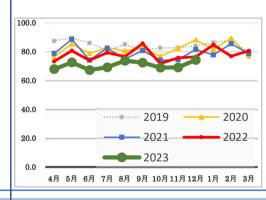
● 患者のうち83~95%は 南和地域の住民

#### 南和地域市町村別患者数

- ・ 南奈良GMCでは、約83% (7年平均)
- 吉野病院では、約95<sup>%</sup>(同上)
- 五條病院では、約94<sup>%</sup>(6年平均) ※ 実患者数

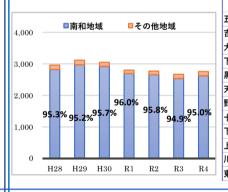




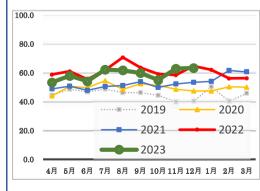


吉野病院

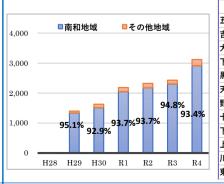




	(外来)		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28→R4
Б	條	市	48	53	28	34	33	25	32	1
吉	野	町	2015	2103	2039	1,855	1,877	1837	1833	- Trans
t	淀	町	424	468	488	457	438	418	456	1
下	市	町	89	94	123	126	105	83	102	1
黒	滝	村	3	3	3	8	11	7	8	-
Ŧ	Ш	村	14	20	20	20	18	14	12	1
野	迫川	村	0	0	1	0	0	0	0	
+	津川	村	0	2	1	3	4	1	2	and a
下	北 山	村	2	5	4	5	3	3	3	1-1
Ł	北 山	村	8	10	10	12	8	6	6	1
Ш	上	村	194	196	184	152	138	125	136	-
東	吉 野	村	23	17	19	20	21	17	29	and







	(外来)		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28→R4
Б	條	市	0	1269	1444	1,901	2045	2194	2785	men.
吉	野	町	0	7	7	16	12	12	11	1
t	淀	町	0	16	18	42	45	41	51	and the
下	市	町	0	8	9	19	18	14	13	1
黒	滝	村	0	1	5	6	4	0	2	1
Ŧ	Ш	村	0	6	5	11	8	8	11	100
野	迫川	村	0	2	3	14	4	3	5	-
+	津川	村	0	24	23	38	38	30	31	1
下	北 山	村	0	0	0	0	2	0	1	
Ł	北 山	村	0	0	0	0	1	1	1	
Ш	上	村	0	1	0	0	0	1	2	1
東	吉 野	村	0	0	0	0	0	1	1	



												累	計									
												受 入	ħ	医	- 機	関						
	救急搬	设送状況		域消防組 総搬送数	台			南	i奈良総合	医療セン	ター			奈良医大		橋本市民		その他				
						-	要請数(A)		ě	受入数(B)		応需率	(B/A)	救命	·ER·	外来	1	南平川氏			その他	
			2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増洞
		大淀署	837	931	94	586	644	58	520	595	75	88.7%	92.4%	124	142	18	4	11	7	189	183	-
	中吉野	下市署	281	292	11	224	234	10	200	206	6	89.3%	88.0%	22	28	6	1	0	-1	58	58	
	TDI	黒滝分署	58	43	-15	47	30	-17	41	28	-13	87.2%	93.3%	4	2	-2	0	0	0	13	13	
		天川分署	101	86	-15	75	71	-4	65	64	-1	86.7%	90.1%	9	11	2	0	0	0	27	31	-1
		五條署	1,476	1,478	2	1,150	1,116	-34	1,009	968	-41	87.7%	85.7%	133	138	5	91	121	30	243	251	
	五條	大塔分署	66	72	6	49	51	2	44	44	0	89.8%	86.3%	4	5	1	1	1	0	17	22	
		十津川分署	136	168	32	67	80	13	60	75	15	89.6%	93.8%	2	5	3	0	1	1	74	87	1
		西吉野出張所	151	123	-28	123	96	-27	108	90	-18	87.8%	93.8%	20	.9	-11	5	9	4	18	15	-
	吉野	吉野署	497	489	-8	367	371	4	349	352	3	95.1%	94.9%	44	40	-4	0	0	0	104	97	
	古野	北山分署	64	66	2	35	29	-6	34	27	-7	97.1%	93.1%	1	4	3	0	0	0	29	35	
	野迫川	野迫川分署	24	33	9	14	20	6	12	18	6	85.7%	90.0%	4	1	-3	7	4	-3	1	10	
	南	和地域 計	3,691	3,781	90	2,737	2,742	5	2,442	2,467	25	89.2%	90.0%	367	385	18	109	147	38	773	782	
-	中和	御所署	1,530	1,577	47	246	300	54	184	246	62	74.8%	82.0%	305	272	-33	2	3	1	1,039	1,056	1
	十七	高市署	851	888	37	74	73	-1	54	57	3	73.0%	78.1%	196	177	-19	0	0	0	601	654	5
	宇陀	宇陀署	1,653	1,724	71	56	64	8	42	50	8	75.0%	78.1%	228	227	-1	0	0	0	1,383	1,447	6
		その他	31,396	34,263	2867	-	-	-	246	237	-9	-	-	3,664	3,803	139	2	1	-1	27,484	30,222	2,73
	県氵	消防 合計	39,121	42,233	3,112	-	-	-	2,968	3,057	89	-	-	4,760	4,864	104	113	151	38	31,280	34,161	2,88
	(県内応	5需率※1)							(86.9)	(85.4)				rf.再編	前 5.7	7件 20	016 201	17 2018	2019	2020 2	021 2022	202
	他消防	(県外等)							8	7	-1			※ 一日				10.1			9.4	C
	総	計							2,976	3,064	88			搬送	件数の推	移 11	l.2 10.	1	O	8,5	10.6	$_311$

報を共有・閲覧して、最適な治療につなげている

医療機関名	件数	医療機関名	件数
奈良県ドクターヘリコプター	126	南和病院	2
社会福祉法人恩賜財団済生会御所病 院	57	山本病院(橋本市)	2
社会福祉法人恩賜財団済生会中和病 院	42	中辻医院	2
公益財団法人 天理よろづ相談所病院	40	医療法人中川会飛鳥病院	2
新宮市立医療センター	36	医療法人向聖台会當麻病院	2
医療法人 橿原友紘会 大和橿原病院	34	和歌山県ドクターヘリコプター	2
十津川村国民健康保険 小原診療所	34	和歌山県立医大 紀北分院	2
中井記念病院	33	医療法人泰山会福西クリニック	2
大和高田市立病院	33	大和郡山病院	2
平成記念病院	31	尾鷲総合病院	1
医療法人藤井会 香芝生喜病院	31	医療法人青心会郡山青藍病院	1
奈良県西和医療センター	27	医療法人社団岡田会山の辺病院	1
社会医療法人健生会土庫病院	26	上北山村国民健康保険診療所	1
社会医療法人高清会 高井病院	25	医療法人平治会 さくらレディースクリニック	1
国保中央病院	23	社会医療法人 高清会 香芝旭ヶ丘病院	1
医療法人興生会吉本整形外科外科病 院	22	医療法人春秋会 城山病院	1
医療法人鴻池会秋津鴻池病院	14	近畿大学奈良病院	1
紀南病院(三重県)	14	医療法人財団北林厚生会五条山病院	1
紀和病院	14	医療法人果恵会恵王病院	1
医療法人 桂会 平尾病院	12	奈良県消防防災ヘリコプター	1
南和広域医療企業団 五條病院	11	五條市立大塔診療所	1
南和広域医療企業団 吉野病院	10	和歌山県立医科大学附属病院	1
宇陀市立病院	8	日本赤十字社和歌山医療センター	1
独立行政法人国立病院機構奈良医療 センター	5	大阪府立急性期・総合医療センター	1
下北山村国民健康保険診療所	5	十津川村国民健康保険 上野地診療所	1
近畿大学病院	4	国立循環器病研究センター	1
高野町立高野山総合診療所	4	医療法人八甲会潮田病院	1
南和歌山医療センター	4	佐野記念病院	1
奈良県総合医療センター	3	松阪中央総合病院	1
中川医院	3	浦井整骨院	1
吉田病院		運動器ケアしまだ病院	1
市立奈良病院		神戸市立医療センター中央市民病院	1
独立行政法人国立病院機構やまと精神医療センター		オケタ整形外科	1
一般財団法人 信貴山病院ハートランド	2	合計	782

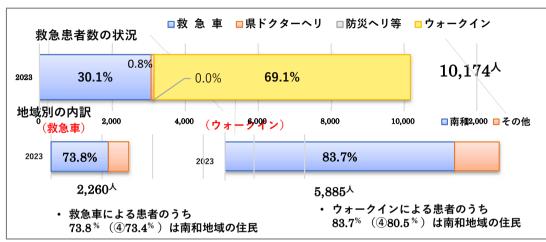
-90.0

#### 南奈良総合医療センター

○救急外来受入れ人数 10,174<sup>件</sup>(対前年度▲2,707)
コロナ発熱外来患者が大きく減少している (ウォークイン▲2,801)
一方、救急車(+88件)と県ドクターヘリ(+7件)での受け入れは前年を上回っている
○南和地域の住民に、8,203<sup>人</sup>(全体の86.4<sup>%</sup>)利用していただいている ④10,145人(全体の78.8<sup>%</sup>)
数争車73.8%

(単位:人)

| 新和地域の住民に、8,203 (宝体の | 教急車73.8%、ウォークイン83.7% | 教育 | 大き町 | 古野町 | 東古野村 | 大き町 | 大き町 | 東古野村 | 東古野村 | 大き町 | 東古野村 | 東古野村 | 東古野村 | 大き町 | 東古野村 | 東古町 | 東西町 | 東西町 | 東古町 | 東西町 | 東古町 | 東西町 | 東西町



#### 括弧内は、前年度同期間の比率

● 県ドクターへリ(57件)の内訳(患者住所地)

市田	订村	名	件数	市町村名	件数
五	條	市	27	野迫川村	1
吉	野	囲丁	4	十津川村	8
大	淀	囲丁	2	下北山村	2
下	市	囲丁	4	上北山村	4
黒	滝	村	2	川上村	2
天	Ш	村	1	東吉野村	0

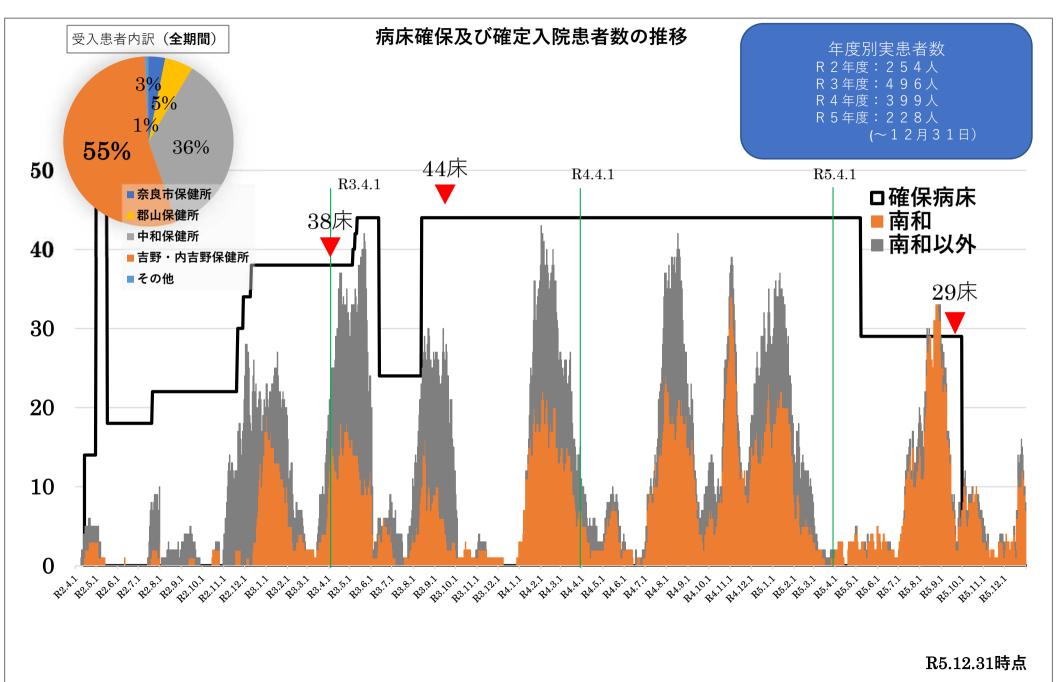
● 救急外来の状況	(R5.4~12月実績)	※ 患者住所地
-----------	--------------	---------

								(半位・八	J
***		2022	2		2023			増 減	
救急外来の状況	南和	<b></b>	計	南和	<b></b>	計	南和	<b></b>	計
**	2,186	790	2,976	2,260	804	3,064	74	14	88
救 急 車			(23.1%)			(30.1%)	(+3.4%)	(+1.8%)	(±3.0%) -
県ドクターへリ	49	23	72	57	22	79	8	<b>-</b> ∡1	7
宗トクダーへり			(0.6%)	<u></u> _		(0.8%)	(16.3%)	(▲4.3%)	(9.7%)
防災へリ等	0	4	4	1	2	3	1	<b>▲</b> 2	<b>^</b> 1
防火へり守			(0.0%)			(0.0%)	(-)	(▲50.0%)	$(\blacktriangle25.0\%)$
<b>.</b>	7,910	1,919	9,829	5,885	1,143	7,028	▲2,025	<b>▲</b> 776	<b>▲</b> 2,801
ウォークイン			(76.3%)			(69.1%)	( <b>▲</b> 25.6 <sup>%</sup> )	(▲40.4%)	$(\blacktriangle28.5\%)$
合 計	10,145	2,736	12,881	8,203	1,971	10,174	<b>▲</b> 1,942	<b>▲</b> 765	▲2,707
			(100.0%)			(100.0%)	(▲19.1%)	(▲28.0%)	$(\blacktriangle 21.0\%)$
1日平均	36.9	9.9	46.8	29.8	7.2	37.0	<b>▲</b> 7.1	▲2.7	▲9.8

「参老】 厚ドクターヘリ出動・搬送状況 (R5.4~12日宝績)

山動	<b>往</b> 粉		累計		搬送件数		累計	
Ш #//	出動件数 有和保健医療圈 会良保健医療圈 可和保健医療圈 中和保健医療圈	2022	2023	増減		2022	2023	増減
南和保領	建医療圏	138	147	9	南奈良総合医療センター	72	79	7
		22	21	-1	対出動件数(キャンセル除く)		22.6%	-6.6 <sub>pt</sub>
		36	31	-5	南和地域出動受入件数	66	73	7
1 1111111		49	50	1	奈良県立医科大学附属病院	122	139	17
東和保健		56	64	8	奈良県総合医療センター	42	37	-5
県	外	10	11	1	その他	75	69	-6
小	計	311	324	13	合 計	311	324	13
	ャンセル	41	25	-16		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
合	計	352	349	-3				

# 南奈良総合医療センターにおける新型コロナウイルス患者の入院受入状況(地域別)



## 令和5年度 南和広域医療企業団 病院事業会計決算見込の概要

コロナ前 (R1) の稼働率を想定し医業収益を計上していたが、5類移行後も、9月末まで空床確保の要請があったこと、また、クラスターの発生による入院制限等により、入院収益が減少したことにより、47百万円の赤字となる見込みです。

(単位:百万円)

				(早位:日月內)
	R⑤予算	R⑤決算見込	増減	説明
病院事業収益(特別利益除く)	11,085	10,956	▲ 129	
(1)医業収益	9,433	9,317	<b>▲</b> 116	
①入院収益	5,959	5,583	▲ 376	コロナ感染症の空床確保やクラスター等による収益減のため
②外来収益	2,769	2,937	168	高額医薬品(化学療法・難病)の増加による収益増のため
③その他医業収益	288	296	8	
④国·県補助金	66	150	84	空床確保補助金の追加による収益増のため
⑤他会計負担金	351	351	0	
(2)医業外収益	1,526	1,518	▲ 8	
(3)看護師養成事業収益	126	121	<b>▲</b> 5	
病院事業費用(特別損失・予備費除く)	11,048	11,003	<b>▲</b> 45	
(1)医業費用	10,834	10,795	▲ 39	
①給 <u>与費</u>	5,506	5,281	▲ 225	職員減(退職、育休等)及び働き方改革による超勤等の減少のため
②材料費	1,900	2,197	297	高額医薬品(化学療法・難病)の増加による薬品費増のため
③経費	2,465	2,351	<b>▲</b> 114	修繕料や委託料の節減による経費減のため
④減価償却費	724	728	4	
⑤その他医業費用	239	238	<b>▲</b> 1	
(2)医業外費用	62	61	<b>▲</b> 1	
(3)看護師養成事業費用	152	147	<b>▲</b> 5	
経常利益(損失)※1-2	37	<b>▲</b> 47	<b>▲</b> 84	
特別利益	2	0	<b>A</b> 2	
特別損失	4	0	<b>4</b>	
予備費	2	0	▲ 2	
純利益(純損失)※3+4-5-6	33	<b>▲</b> 47	80	

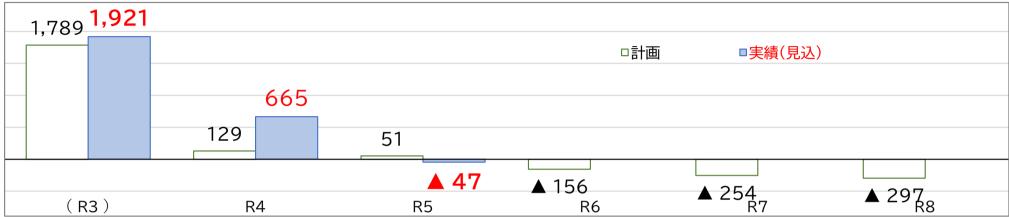
高額医薬品の増加による材料費の増額補正が必要であり、給与費の減額補正で対応 (給与費は流用禁止項目の為)

# 第2期中期計画(R4~R8)の収支見通しについて

### 令和4年度までの収益の額は、計画を上回りましたが、令和5年度は単年度経常赤字となる見込み



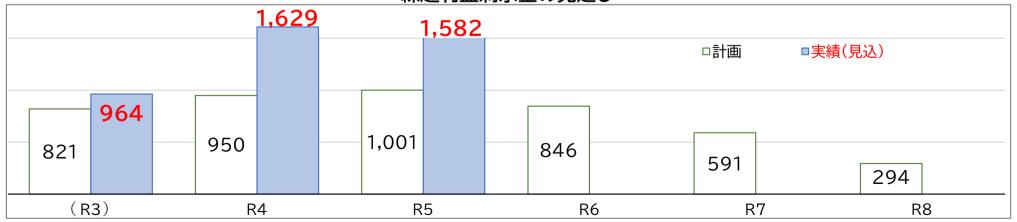
単位:百万円



令和5年度の単年度赤字により、繰越利益剰余金の額は減少していますが、 令和5年度末繰越利益剰余金は、約15.82億円となり、計画より5.81億円上回っています

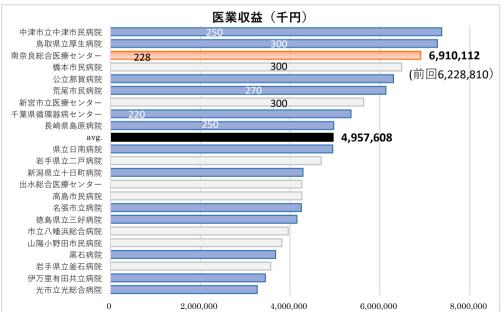
### 繰越利益剰余金の見通し

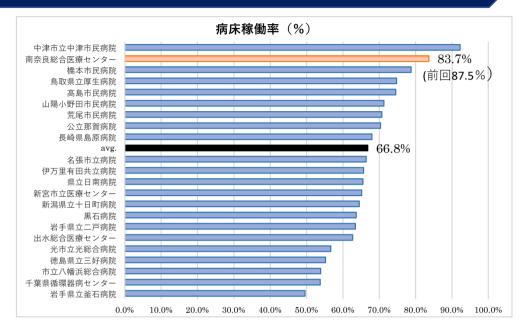
単位:百万円

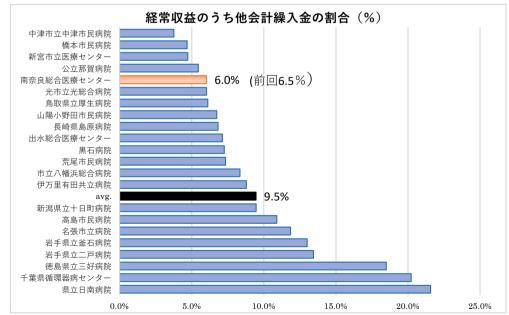


病床稼働率が高く、300床規模や7:1看護基準の病院と比べても遜色のない医業収益を確保しています。 その結果、構成団体からの繰入金も低位にあります。

病床数順	病院名	都道府県	事業開始年度	一般	看護の基準	職員数	コロナ病床 R4.11.16	割合
1	新宮市立医療センター	和歌山県	1947	300	10:1	386	32	10.5%
1	公立那賀病院	和歌山県	1950	300	7:1	485	65	21.4%
1	厚生病院	鳥取県	1963	300	7:1	584	47	15.5%
1	橋本市民病院	和歌山県	1963	300	10:1	489	51	17.0%
5	日南病院	宮崎県	1948	277	7:1	483	10	3.6%
6	十日町病院	新潟県	1949	275	7:1	391	42	15.3%
7	釜石病院	岩手県	1950	272	10:1	364	4	1.5%
8	荒尾市民病院	熊本県	1949	270	7:1	577	39	14.2%
9	出水総合医療センター	鹿児島県	1925	257	7:1	336	2	0.8%
9	国保黒石病院	青森県	1944	257	10:1	452	20	7.7%
11	市立八幡浜総合病院	愛媛県	1928	254	10:1	323	20	7.8%
12	島原病院	長崎県	1966	250	7:1	424	24	9.4%
12	中津市民病院	大分県	2000	250	7:1	526	26	10.4%
14	二戸病院	岩手県	1950	248	10:1	450	8	3.2%
15	南奈良総合医療センター	奈良県	2016	228	10:1	473	44	19.0%
16	循環器病センター	千葉県	1955	220	7:1	551	17	7.7%
17	山陽小野田市民病院	山口県	1950	215	10:1	304	15	7.0%
18	光市立光総合病院	山口県	2019	210	7:1	345	6	2.9%
19	三好病院	徳島県	1956	206	7:1	327	39	17.7%
20	高島市民病院	滋賀県	1981	206	10:1	416	15	7.1%
21	伊万里有田共立病院	佐賀県	2012	202	7:1	330	32	15.5%
22	名張市立病院	三重県	1994	200	7:1	382	24	12.0%







# 南奈良看護専門学校の特待生制度の創設及び指定校推薦入学試験の導入について 資料4

## 目的

近年、18歳人口の減少や高校生の大学指向などから、 看護専門学校への入学希望者が減少しています。このよ うな状況の中、南奈良看護専門学校では優秀な学生を安 定的に確保するため、令和7年度入学生に係る入学試験 から以下のとおり見直しを行います。

### 見直しの概要

#### (1) 特待生制度の創設

人数	各学年8人程度(入学定員の20%)				
対象者の住所・高校	限定なし				
対象者の年齢	25歳以下				
申し込みの条件	卒業後、南和地域の医療機関等で看護業務に 従事することを目指すこと				
選考方法	南和地域で就業する意欲、地域性、人物及び 試験成績を総合的に判断し選考				
特待生の特典	1年目授業料全額免除 (南和地域で従事する意志を継続して持っ ており成績優秀等の場合は次年度も免除)				

※ 従来の地域枠(3人を授業料免除)制度は特待生制度に継承されています。

### (2) 指定校推薦入学試験の導入

従来、学校長推薦入学試験として実施していた区分を 指定校推薦に変更し、より学力の高い学生を安定的に確 保することを目指します。

募集人数 20名程度(入学定員40名のうちの半数) 指定校数 過去に入学実績のある高校に対し15校程度 指定

※ 近隣の指定校推薦入学試験実施校 大和高田市立看護専門学校、病院協会看護専門学校、 医師会看護専門学校

志願者及び入学者の状況								
入学 年度	志願 者数	うち南和 地域在住	左の割合	入学者数	うち南和 地域在住	左の割合		
H28	90	23	25.6%	38	10	26.3%		
H29	104	36	34.6%	35	16	45.7%		
H30	89	26	29.2%	38	9	23.7%		
R1	63	17	27.0%	26	5	19.2%		
R2	101	28	27.7%	39	13	33.3%		
R3	86	19	22.1%	43	10	23.3%		
R4	63	16	25.4%	37	10	27.0%		
R5	67	17	25.4%	38	12	31.6%		
R6	46	13	28.3%	* 39	11	28.2%		
合計	709	195	27.5%	333	96	28.8%		

#### ※ R6年度入学者数は合格者数

卒業生及び就職の状況									
卒業年度	卒業 生数	企業団へ 就職(a)	左の 割合	a以外の 県内就職	左の 割合	その他	左の 割合		
H30	32	20	62.5%	10	31.3%	2	6.3%		
R1	29	17	58.6%	12	41.4%	0	0.0%		
R2	30	22	73.3%	8	26.7%	0	0.0%		
R3	27	17	63.0%	9	33.3%	1	3.7%		
R4	34	24	70.6%	9	26.5%	1	2.9%		
R5*	41	24	58.5%	16	39.0%	1	2.4%		
合計	193	124	64.2%	64	33.2%	5	2.6%		

※ R5年度卒業生の状況は未確定数値

# へき地診療所におけるオンライン診療【実証実験の実施】について

# 実証実験の概要

- オンラインでへき地診療所の患者を南奈良総合医療センター等にいる医師が診療。
- 令和6年1月から3診療所で実証実験を開始。【黒滝村・下北山村・上北山村】
- 実証実験は民間企業との共同研究として行い、診療予約システムの導入など費用の大半は民間企業が負担。
- 令和6年4月以降、3診療所【黒滝村・下北山村・上北山村】に加え、希望のあった3診療所【五條市・ 野迫川村・川上村】で、荒天時・災害時にオンライン診療が行えるよう準備を進める。

# オンライン診療の内容

- ① 毎週水曜日のオンライン診療・診療相談 【黒滝村・下北山村・上北山村】 毎週水曜日にへき地診療所において「オンライン診療・診療相談」を実施し、「休診 日だが診察を受けたい」・「体調のことで医師に相談したい」等のニーズに応える。
- ② 荒天時・災害時の診療 【黒滝村・下北山村・上北山村・五條市・野迫川村・川上村】 通常診療日に医師が診療所へ通勤することが困難あるいは危険があると判断される荒 天時に、南奈良総合医療センター等にいる医師がオンラインで診療を行う。



# へき地診療所におけるオンライン診療・診療相談とは?



大きな病気だったら 嫌だな

しているみたい



Case 妊娠中の風邪 熱はないけど 大丈夫かな?



薬も飲みたいけど 市販薬は心配



Case 熱はそれほど でもないけれど



様子を見るべき? 病院へいくべき?





念のため専門家に 意見をもらいたい。



総合医療センター



へき地診療所



※「診療」となるか「診療相談」に留まるかは、個別の事案により判断されます。

# 南和モデルの推進【へき地支援ナース・医療専門職の派遣】について

# へき地支援ナースの育成を進めています

構成団体が設置するへき地診療所で、看護師の一時的な 欠員等が生じた時に、企業団から看護師を派遣する「へき 地支援ナース」を育成しています。

# 希望者の募集



を希望する看護師

を募集



# 院内研修

- ① 日本看護協会キャリア 開発ラダーⅡの取得
- ② 外科系病棟·内科系病 棟を経験
- ③ 救急センター・薬剤 部・在宅診療・訪問看 護などの各部署を経験





# 現地実習(8日間)

へき地診療所での勤務を 通して「診療の流れ」、 「医療機器の管理」、「調 剤」などの業務を経験

令和5年度現地実習

(3名を3診療所に派遣)

野迫川村国保診療所

下北山村国保診療所 黒滝村国保診療所



#### 登録·派遣



へき地支援ナース として院内で登録 し、依頼に応じて 診療所へ派遣

※ 令和6年度も引き続き、現地実習(3診療所程度)をお願いしたいと考えています。

# 医療専門職【理学療法士等】を派遣しています

### 南和広域医療企業団



#### 医療専門職

- 理学療法士
- 歯科衛牛十
- 栄養士 等





### 構成団体(市町村)

医療専門職の派遣により構成 団体の介護予防・健康づくり・生活支 援事業をサポート。





※ 令和6年度も引き続き、ご要望に基づき派遣したいと考えています。

構成団体が実施する介護予防事業などに、 理学療法士等の医療専門職を派遣し、医療面 でのアドバイスや構成団体職員のスキルアッ プを支援しています。

### 令和5年度 派遣状况

黒滝村【半日×年6回程度】

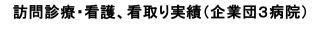
十津川村【1日×年12回程度】

東吉野村【2時間×年12回程度】

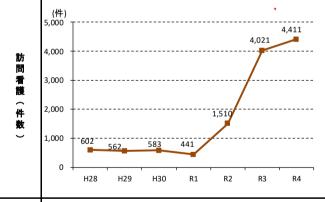
吉野町【2時間×年4回程度】

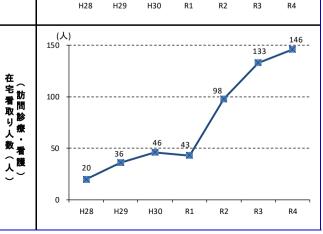
※ 派遣はすべて理学療法士

# 訪問看護体制の強化について(サテライト型訪問看護STの設置)









〇令和3年1月に南奈良総合医療センターに訪問看護ステーションを設置。吉野、五條病院は医療機関としての訪問看護を実施している。

南和地域で訪問診療、訪問看護、在宅看取りのニーズの高まりと ともに実績件数も増加



### 南奈良訪看STのサテライトとして吉野病院に訪看STを設置

- ①看護師や医療スタッフの柔軟な対応が可能となり、結果 質の高いサービス提供を行うことができるようになる。
- ②より広範囲エリアに迅速に対応し利用者を効率的に訪問することが可能となる。
- ③収益の拡大が見込める。

### サテライト型訪問看護ステーションとは?

通常、指定訪問看護事業所は拠点ごとに指定が行われるが、一定要件を満たす場合のみ拠点施設(今回は南奈良)のサテライトとして事業所の設置が許可された施設のこと。

(拠点施設ごと1カ所のみ設置が認められる)

# 令和6年 能登半島地震被災地への医療支援について~令和6年2月1日現在~

# 災害派遣医療チーム DMAT (Disaster Medical Assistance Team)の派遣

第1陣 派遣期間 令和6年1月 4日~ 7日 石川県立中央病院 医師1名、看護師2名、業務調整員2名 計5名

第2陣 派遣期間 令和6年1月17日~22日 いしかわ総合スポーツセンター

医師1名、看護師2名、業務調整員1名 計4名





DMAT(災害派遣医療チーム)とは?

専門的な訓練を受けた医師・看護師などからなり、災害発生直後から活動できる即応力と機動性 を備えた医療チームです。隊員となるには養成研修の受講が必須で、南奈良総合医療センターに は13名の有資格者が所属し、3チームが編成可能となっています。

# 全国自治体病院協議会による看護師派遣

派遣期間 令和6年1月22日~28日 石川県珠洲市総合病院

派遣人員 看護師1名

従事業務 コロナ病棟勤務

※ 食事・寝袋等持参で院内に宿泊し勤務







# 日本赤十字社医療チームの派遣【予定】

派遣予定期間

令和6年2月26日~3月1日 石川県輪島市(避難所への往診業務に従事)

派遣予定人員

医師1名、看護師3名、薬剤師1名、 業務調整員2名 <u>計7</u>